

令和8年度当初予算 復活見積調書(部長)

会計課

■一般会計

(金額:千円)

番号	所属名	事務事業名	項目	目的・効果	計画・スケジュール等	当初見積額		内示額		復活見積額	財源内訳					査定額	財源内訳					査定結果	
						一財	一財	一財	一財		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源		
1	会計課	会計管理費	公金収納デジタル化システム改修費(市税以外のeL-TAX活用)	住民のキャッシュレス決済に対するニーズの高まりへの対応として、地方税以外の地方公共団体における公金について、eLTAXが運用している「地方税統一QRコード(以下「eL-QR」)を用いた仕組みを導入し、地方税お支払いサイト、スマホ決済アプリ、金融機関での納付に対応します。これにより、eL-QR対応金融機関であれば全国どこからでも納付が可能になるほか、スマートフォンやインターネットで簡易かつ迅速な納付が可能となり、市民の利便性の向上に寄与することができます。	◆令和8年9月～12月頃 基幹システム標準化対応 ◆令和8年度中 eL-QR対応システム改修、団体連動試験 ◆上記完了後 公金収納開始	25,600	0	0	0	10,780	0	0	9,700	0	1,080	16,940	0	0	15,200	0	1,740	部長間調整により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。	
2	会計課	会計管理費	財務会計システム標準化対応業務	財務会計システムについては、基幹システムから税等の収納情報を取り込めるよう連携を図っているところです。 新財務会計システムにおける標準準拠システムとの連携については、当初契約の中で対応する予定でしたが、標準化移行遅延に伴い、当初契約の中では現基幹システムとの連携について、対応を行うこととなったため、標準準拠基幹システムとの連携に係る費用が別途発生するものです。	◆令和8年4月～ 現基幹システムとの連携開始、契約締結、標準化基幹システム開発 ◆令和8年9月以降 標準準拠基幹システムとの連携開始	0	0	0	0	2,750	0	0	0	2,750	0	2,750	0	0	0	2,750	0	0	部長間調整により、事業内容を確認し、必要額を措置しました。
部合計						25,600	0	0	0	13,530	0	0	9,700	2,750	1,080	19,690	0	0	15,200	2,750	1,740		